鹿島市
ため池ハザードマップ

笹原ため池

【保存版】

笹原ため池全景

笹原ため池下流域

平成 31 年 3 月

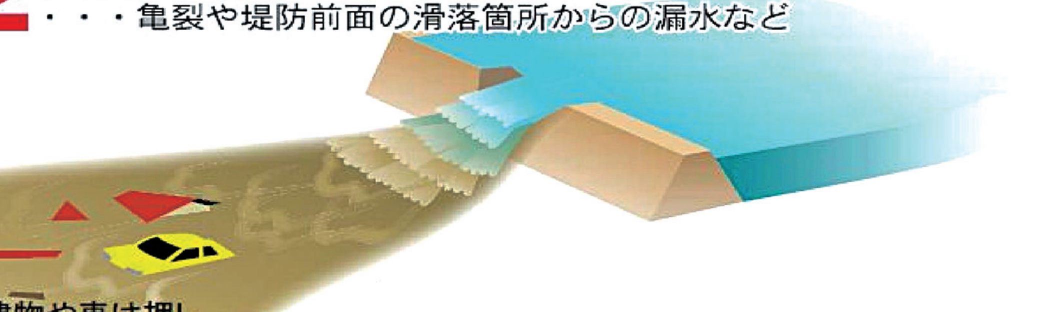
鹿島市ため池ハザードマップに関するお問い合わせ

鹿島市役所（代）　Tel　0954-63-2111
Fax　0954-63-2129
農林水産課農山漁村係　Tel　0954-63-3413
E-Mail　norin@city.saga-kashima.lg.jp
災害対策本部（災害時のみ）　Tel　0954-63-2111

ため池決壊想定イメージ

1 大規模地震により堤防が破損
・・・亀裂や堤防前面の滑落など

2 大雨の増水により堤防が破損
・・・亀裂や堤防前面の滑落箇所からの漏水など



決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。

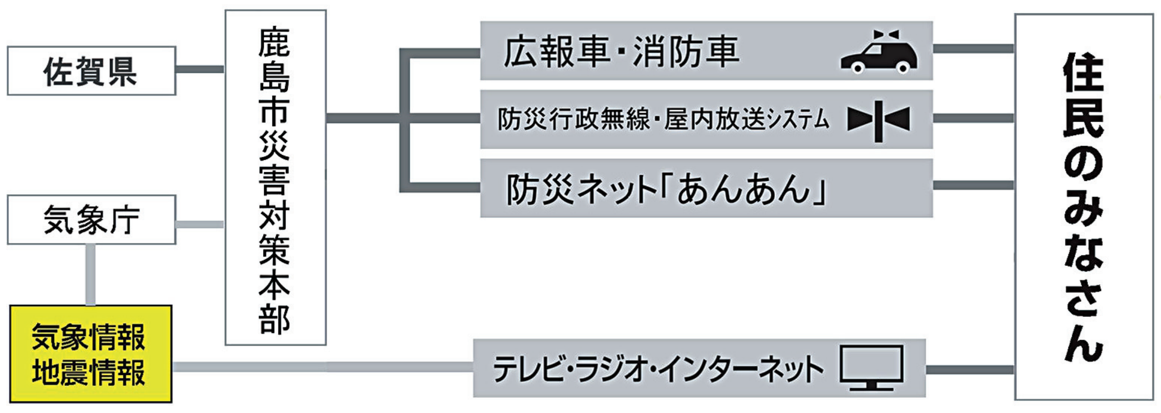
高台に避難してください！

■市からの避難情報（ひなんじょうほう）に注意しよう

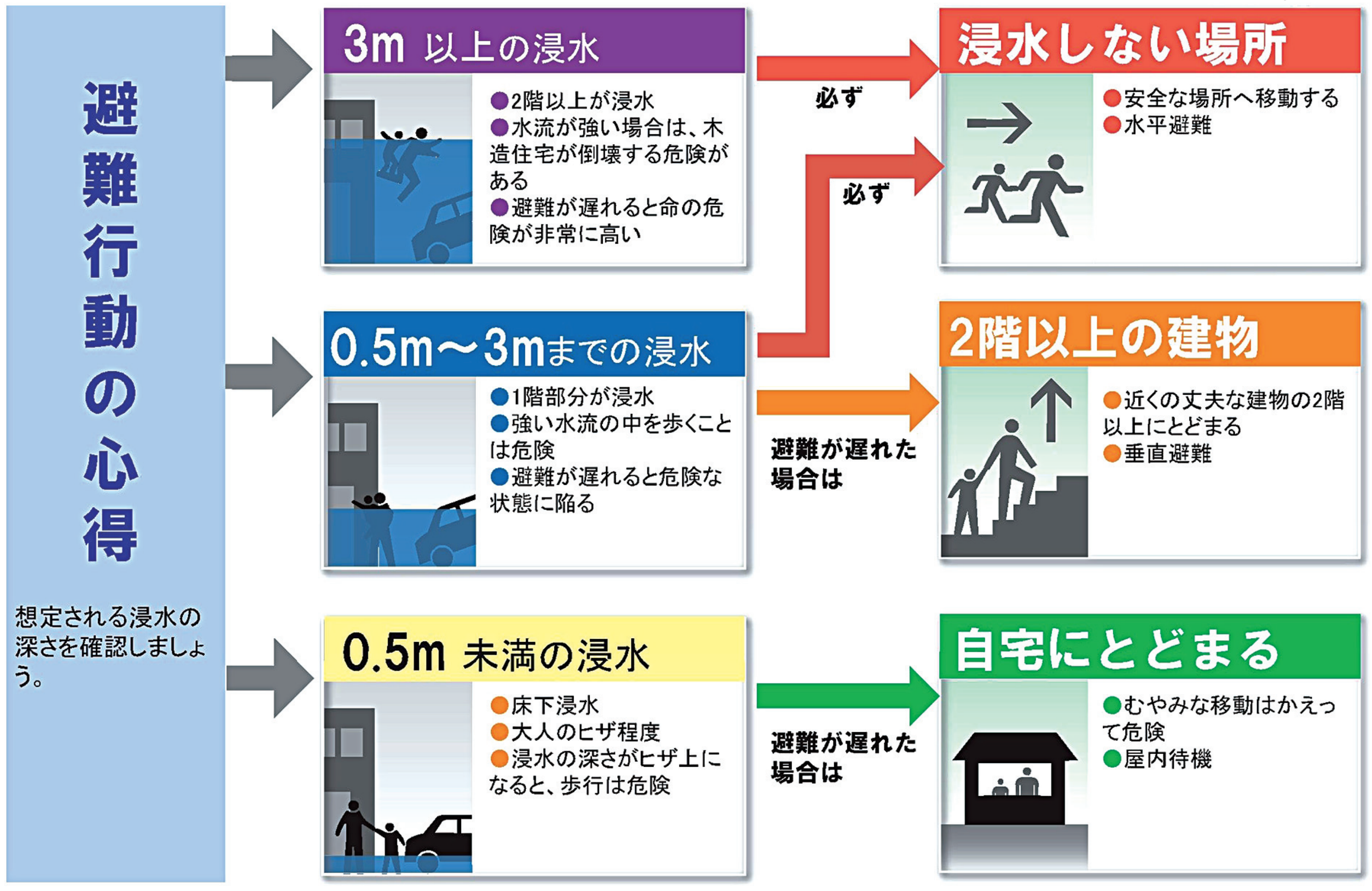
● 避難情報には、緊急度に応じて3つの種類があります。

避難情報の種類	発表の目安
避難準備情報	人的被害の発生する可能性がある場合に発表します。特に避難行動に時間を要する方は、避難を開始してください。
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高くなった場合に発表します。避難してください。
避難指示	人的被害の発生する可能性が非常に高く、大変危険な場合に発表します。ただちに避難してください。（命を守る行動をとってください）

● 避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



■避難勧告（ひなんかんこく）等がだされたら速（すみ）やかに避難（ひなん）



避難行動の心得

想定される浸水の深さを確認しましょう。

3m 以上の浸水
- ●2階以上が浸水
- ●水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある
- ●避難が遅れると命の危険が非常に高い

必ず →

浸水しない場所
- ●安全な場所へ移動する
- ●水平避難

0.5m～3mまでの浸水
- ●1階部分が浸水
- ●強い水流の中を歩くことは危険
- ●避難が遅れると危険な状態に陥る

必ず → 浸水しない場所

避難が遅れた場合は →

2階以上の建物
- ●近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- ●垂直避難

0.5m 未満の浸水
- ●床下浸水
- ●大人のヒザ程度
- ●浸水の深さがヒザ上になると、歩行は危険

避難が遅れた場合は →

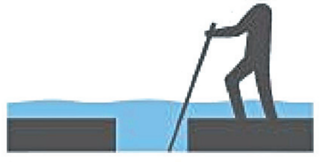
自宅にとどまる
- ●むやみな移動はかえって危険
- ●屋内待機

～早期避難のススメ～

避難は、可能な限り浸水被害が発生する前に行ってください。ため池の決壊後の避難は危険ですので、注意してください

●動きやすい服装で。
●荷物は最小限。

●足元に注意。



●避難は徒歩で。

●指示に従いましょう。

災害発生時の避難情報入手における注意点

地震のあと

被災状況（防災無線の故障、広報車の通行不可、停電等）により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に事態に対応しましょう。

大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災無線・広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオ、インターネットなどから、自主的な情報収集を心がけましょう。

地域防災力の向上に向けて

地震が必ず発生します。もしかすると、明日発生するかもしれません。この予想される大規模な被害に対応するためには、自助・共助・公助の取り組みとともに、地域の防災力を向上させていくことが重要です。

「災害を知る」「まちを知る」「人を知る」

■災害をイメージして、日常から自分で対策を考えることが大切です。

1． **災害を知る**
「どれくらいの規模で、どのような災害の発生が予想されるか」

2． **まちを知る**
「災害時に安全な場所、危険な場所はどこにあるのか」
「何かあった場合にお世話になる場所や施設はどこにあるのか」

3． **ひとを知る**
「いざという時に頼りになる人はどこにいるのか」
「近所に手助けが必要な人はいないか」

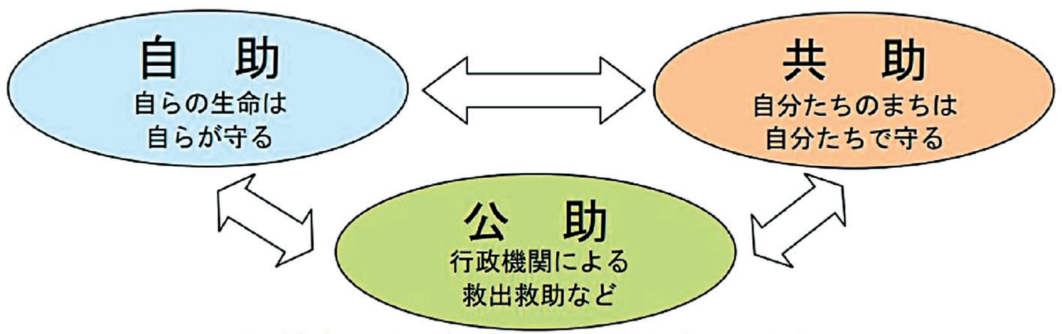
「自助」「共助」「公助」

■災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」連携が不可欠です。

1． **自助**
「自らの安全は、自らが守る」これが、防災の基本です。

2． **共助**
近所の人たちと協力して、お互いに助け合うこと。

3． **公助**
市役所・警察・消防といった行政機関が取り組むこと。


自助
自らの生命は
自らが守る
共助
自分たちのまちは
自分たちで守る
公助
行政機関による
救出救助など

それぞれが、災害対応力を高め、連携することが重要

地域防災力を高めることが、災害に強い地域を作る事につながり、一人でも多くの命を救うことにつながります。

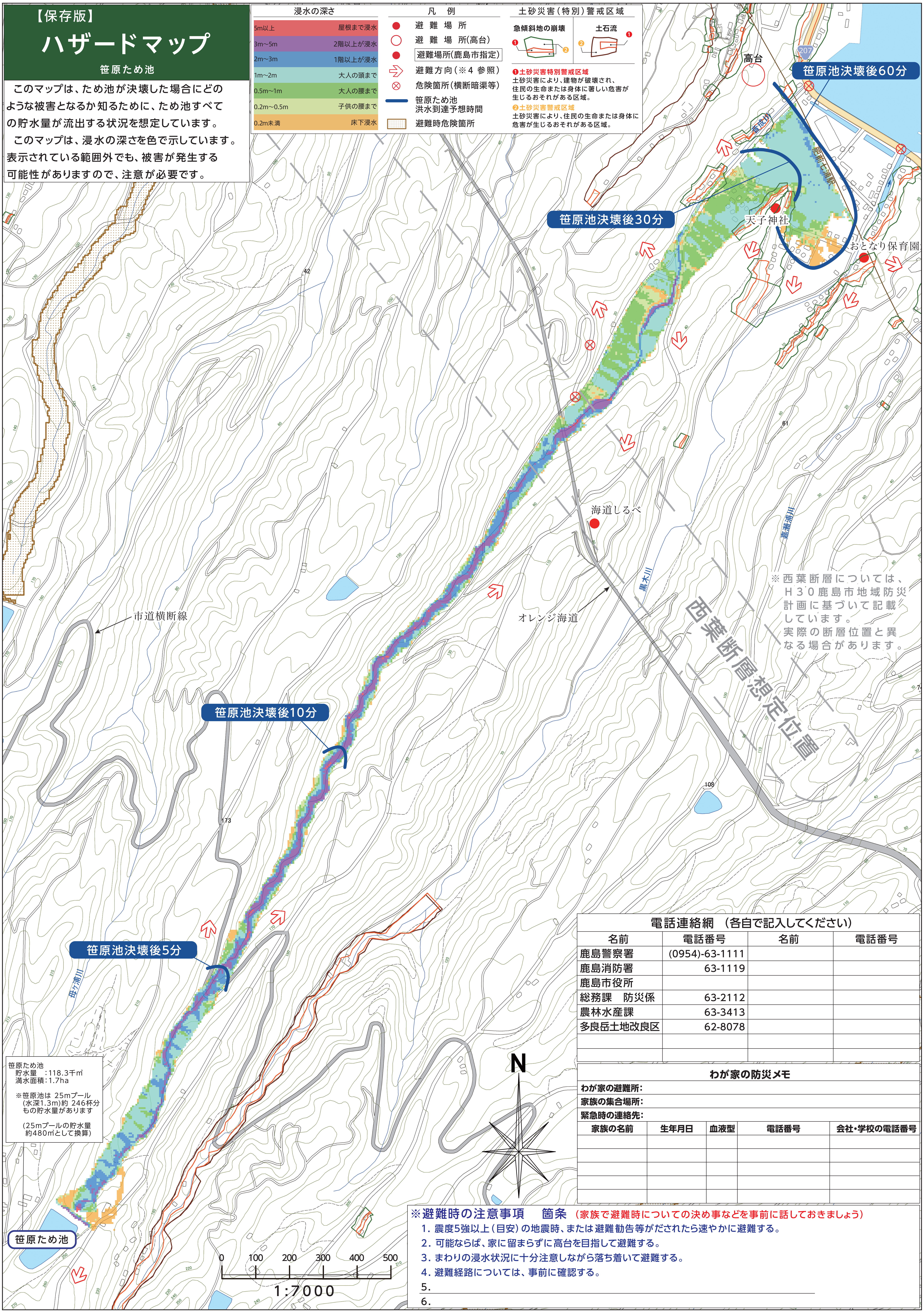
【保存版】

ハザードマップ

笹原ため池

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるか知るために、ため池すべての貯水量が流出する状況を想定しています。

このマップは、浸水の深さを色で示しています。表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



※西葉断層については、H30鹿島市地域防災計画に基づいて記載しています。実際の断層位置と異なる場合があります。

浸水の深さ	
5m以上	屋根まで浸水
3m～5m	2階以上が浸水
2m～3m	1階以上が浸水
1m～2m	大人の頭まで
0.5m～1m	大人の腰まで
0.2m～0.5m	子供の腰まで
0.2m未満	床下浸水

凡　例

- ● 避難場所
- ○ 避難場所(高台)
- ● 避難場所(鹿島市指定)
- ⇨ 避難方向(※4 参照)
- ⊗ 危険箇所(横断暗渠等)
- ━ 笹原ため池 洪水到達予想時間
- ▨ 避難時危険箇所

土砂災害(特別)警戒区域

急傾斜地の崩壊　土石流

❶土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

❷土砂災害警戒区域
土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。

笹原ため池
　貯水量　：118.3千㎥
　満水面積：1.7ha

※笹原池は 25mプール(水深1.3m)約 246杯分もの貯水量があります

(25mプールの貯水量約480㎥として換算)

電話連絡網　(各自で記入してください)

名前	電話番号	名前	電話番号
鹿島警察署	(0954)-63-1111		
鹿島消防署	63-1119		
鹿島市役所			
総務課　防災係	63-2112		
農林水産課	63-3413		
多良岳土地改良区	62-8078		

わが家の防災メモ

わが家の避難所:

家族の集合場所:

緊急時の連絡先:

家族の名前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校の電話番号

※避難時の注意事項　箇条 (家族で避難時についての決め事などを事前に話しておきましょう)

1. 震度5強以上(目安)の地震時、または避難勧告等がだされたら速やかに避難する。
2. 可能ならば、家に留まらずに高台を目指して避難する。
3. まわりの浸水状況に十分注意しながら落ち着いて避難する。
4. 避難経路については、事前に確認する。
5.
6.

この地図は、国土地理院の基盤地図情報2018年4月1日更新版(承認番号 平30情使、第869号)を使用したものである。